

は岩場で行き止まりになっていた。川に出た時はホッとした。飛び石でクリア。万が一でも、水量は歩いて渡れるくらいだったので、雨の影響は少なかったようだ。運の良い事に漁場で、川に降りる階段がつけられていたので、道には簡単に上がった。

品塩山は、ヤマップに地図掲載されていないので、地図と地形を何回も各所で見比べた。皆の経験と感が活かされた山行だったと思いました。

花有り、スリル有り、急登有り過ぎでとても楽しかったです。いい山でした。

長野 5:30 しおじ 8:00/8:40 トヤノツムジ 9:35 中ノ沢分岐 11:10 北峰 11:57 中ノ沢分岐 12:44 徒渉 14:08 駐車場 14:41
--



車場を埋めていく。ほとんどが県外ナンバーでびっくり。ゴンドラ乗場は、すでに長蛇の列だった。リフトを降りて、登山口に着いたのは9:20分。すでに40分予定より遅れてしまった。リフト降り場からすぐアイゼンを着けた。雲ひとつない快晴で風もなく暑くなりそうだ。ザクザクと気持ちよく雪を踏んで進む。

いつもどおり左側に大きな鹿島槍と五竜、立派だなあ。さらに進むと右側に不帰嶮、あそこが天狗の大下りかな。雪を着けてさらに険しく見える。登る途中の雪には大きな割れ目ができて崩れそうな箇所も何箇所もあり、いつもより雪解けが早いかなあと考えた。丸山を越え、もうひと登りしたところで12:24分。最終のリフトに間に合わせるため、時間切れということで昼食をとって下山開始。来年は唐松山荘まで登って、劔岳を見ることを目標にしようねと来年の目標まで決定。下りは思いの外、ズンズン進み14:15分にリフト乗場に到着。春まっただなかの陽気の中、今年も素晴らしい残雪のアルプスを楽しみました。



長野 6:30—駐車場 7:30—ゴンドラ乗車 8:45—登山口 9:30
 出発—丸山より一つ上のピーク 12:15/12:45—リフト乗場 14:15

4月18日(日) 品塩山

参加者:

上野村のしおじの湯を目指す。学生の家も、品塩山の山名も大きな案内板には無い。温泉の方が外にいらしたので駐車場と登山口を聞く。詳しい人に聞いてあげますよと言われた所に、調度その方が見えた。結局、地元の人も登っていない様子だったが、方角は教えていただいた。ところが、

方角違いでUターン。20~30分のロスとなってしまった。メンバーは、まだ誰も登ったことが無く情報が少ない。地形、踏み跡、地図確認を行う。211号鉄塔巡視路の標を見つけ、うっそうとした杉林の中を進み、落ち葉で道が消えた!と思ったら、木に[品塩山]の板を見つけ安心した。こんなに奥じゃなくて、もっと入り口に付けてほしいなあ。急坂を詰めるとメインの尾根。今日はこの尾根を外さないこと、帰りの分岐を確認しておくこと、雨の翌日なので増水、徒歩注意する事。

尾根の急坂を進むと三つ葉つつじが咲いている。トヤノツムジでは上野ダムも見え、遠く見えていた諏訪山も近くなった。ここから三つ葉つつじのトンネルだ。もう、落下していると思ったので嬉しかった。大小のアップダウンがいくつも有り過ぎて、頑張っている割には標高が上がらない。足首がキツイぐらいの傾斜でふくらはぎがバンパン。足がつりませんようにと、祈る。尾根すじの木に熊の爪痕が残っているのが、何回かあった。鈴や音を出したり、話をしたりしました。寒波で強風が吹き出し防寒。風が強すぎる。1060m点でアカヤシオが咲いている。三つ葉つつじとアカヤシオのミックスが始まる。花がずっと続く楽しい尾根だ。ピンク色の混ざる山頂が見え、もう少しと思ったら大ギャップ。ガラガラの下りでした。

山頂への取付きにはトラロープありの岩場です。急斜面なので、ロープ2本ありましたが、短かったり、ちぎれそうだったり、心配でした。下りのことを考えたら、20mロープを持参した方が良かったなど、反省。

アカヤシオの咲いている北峰到着。本日、1番の多さでぐるりとアカヤシオ!

強風の中、写真だけ撮り直ぐに下山。

分岐から下山ルートへ。2つ目の尾根が広すぎて、右か左か迷う。地図を出してGoogleでも確認し合う。選んだ尾根は、巻き込めば良かったのか?行けたのか?また悩む。直進は切れ落ちてるように見えたので、広い谷をジグザグに降りることにした。こちらも急斜面なので、足が疲れた。途中で見上げたら、やはり直進



ツバキのトンネルのような上りを抜けると稜線の先端に灯台が見えた。海が穏やかに広がり、清々しい気分で眺めた。灯台まで下り、海の中に続いているような階段を下り、海岸へ到着。洞窟に向かう。トンネルを抜けると波が打ち寄せる波打ち際だった。ここが満潮の時は通過できない箇所と確認し、駐車場に戻る。

次の弥彦山へ向かう。広大な越後平野を走り、どこにも人影はない。弥彦神社駐車場に着くと急に賑やかになった。満車に近かったが停めると、すぐ脇が登山口だった。

登山道は静かで、角田山のおまけのつもりだったが、こちらもお花が素晴らしかった。アズマイチゲ、キクザキイチゲが沢山咲き、花も大きい。中腹辺りの岩場にはカタクリも咲いていて、よく見ると、長野ではあまり見ないコシノコバイモが何輪も可愛らしく咲いている。見つけて嬉しくなりました。

また、マンサクの大木が固まって数本あって、枝一杯に黄色の花をつけている。マンサクの花で黄色に煙るその先に弥彦山の山頂が見えて、春のやわらかい色彩がとても美しい景色に見とれてしまった。



登山口から1時間45分後の15時に弥彦山頂上到着。弥彦神社の奥宮があり、皆で参拝した。

春の新潟の山2座は、スプリング エフェメラルと出会い、自然からパワーも頂き、心洗われる美しい花旅だった。
/皆さま ありがとうございます



3/27 (土) 長野 (若槻支所) 5:00=巻潟東 IC7:15=角田岬登山口 P7:45/7:55=桜尾根登山口 8:00=角田山山頂 9:50=山頂園地 10:00/10:30=角田山山頂 10:40=三望平-灯台 12:20=灯台下洞窟 12:25=角田岬登山口 P12:35/12:40=弥彦神社 P13:15=弥彦山山頂 15:00=ロープウェイ 15:30=弥彦山山麓駅 15:36=弥彦神社 P16:10=長野

4月3日(土) 飯縄山(創立記念登山)

天気:晴れ
参加者:

3月末には桜が咲き、春の花が一斉に花開くような暖かな日差しを受け、里から見ても飯縄山の雪は一気に消えてい

きました。飯綱リゾートスキー場も見えるところに雪はなくフキトウが所々に花を咲かせていました。「今日は滑落停止訓練ができるのだろうか…」寒さを感じない朝、目の前のスキー場を目にしていると誰ともなく出てくる言葉でした。スキー場グレンデから原田新道へ。入口には今年設置されたかのような新しい案内板がありました。以前歩いたときはちゃんとした橋がなかった沢にも頑丈なしっかりとした橋が架かり、登山道もよく整備されていました。落ち葉が積もって足に優しく、南登山道とはずいぶん足元が違いました。登山道に伸びた木々の枝はずいぶん切り落とされていました。切り口から見るとごくごく最近切られたのでしょうか。登山道を進むと徐々に雪道となり、木々に結ばれたピンクテープをたどって歩くようになりました。杉林の間からピーク手前の開けた雪原が見えたところでアイゼン、ピッケルを装着。雪面の歩き方の注意を聞き前進。頂上には5、6人がゆっくりしていました。腰を下せるような岩は出ていましたが、やはり2,000m弱(1,917m)の飯縄山、訓練の出来る雪はありました。小野さんに滑落停止の体勢や注意点等の指導をしていただきお互いを見ながら行いました。下山時も下りの歩き方を意識しながら下りてきました。この3シーズンは冬靴を履くこともなく、わずかな距離でしたが久しぶりにアイゼンを着けピッケルを手にして山に入ることが出来て、来シーズンも、との思いになりました。



長野 (ループ橋) 6:30 = 飯綱リゾートスキー場 P
7:30 発 — 飯縄山山頂 (滑落停止訓練) 10:40~12:20
— 飯綱リゾートスキー場 P 13:55 = ループ橋 14:35

4月10日(日) 唐松岳

天気:晴れ
参加者:

ゴンドラ乗場前の駐車場に着くと、次々と車が入ってきて駐

月報 白樺

ALPINE CLUB / WHITEBIRCH NAGANO

5月の活動予定

5月11日(火) 第一例会

5月9日(日) クライミング基礎講座

CL:

5月13日(水) 物見 朝練習開始

5月15or16日(土 or 日) 日向山・鞍掛山

CL:

5月22・23日(土・日) 長山協 針ノ木岳講習会

6月の活動予定

6月1日(火) 第一例会

6月5or6日(土 or 日) 神奈山

CL:

6月18・19日(金・土) 女峰山(前泊)

CL:

6月26or27日(土 or 日) 佐武流山

CL:

3・4月の活動報告

3月27日(土) 角田山

天気: 晴れ

参加者:

角田山は春のお花山行として過去何度か実施され、長野より一足早い新潟の春を楽しんできた。この2年間悪天の為3回も中止になり、4度目にしてようやく実現した。

待ちに待った当日。予報は晴れ。

上手な運転と愉快的な会話で、あっという間に角田岬駐車場に着いた。見覚えのある灯台と穏やかな海が広がっている。海岸から直接山に登る事は長野ではあり得ないので、とても新鮮で心も踊る。広い駐車場には登山姿の人も数人見かけられる。

今回は桜尾根コースを登り、灯台コースを下る。桜尾根コースは私有地と言う事で地図には記載されていないが、検索すると毎日多くの人が記録や写真を載せている人気のコースだ。ヤママップで地図を確認して出発。

登山口は駐車場から車道を灯台コースに向かう途中で、注意していないと見逃すような少し奥に看板が立っていた。

「犬は禁止。ストックはゴムキャップを」と注意書きもある。登山道はしっかりついていて、よく整備されている。

歩き始めるとすぐにクリーム色のトキワイカリソウが咲いている。そこからは、登山道の両脇はミスミソウのオンパレード。白、青、紫、薄紫、ピンクと色とりどりに、次から次へと驚く程たくさん咲いている。あまりの可愛らしさに、かがみ込んで眺め写真に撮り、立つと違った色の花に引き込まれ、またかがみ込みとなかなか先に進めない。花は丁度見頃で、晴れているので花も開いて、中の雌しべや雄しべも色がそれぞれ違ってとても美しい。「今日晴れて良かったね」「待ったかいがあったね」と同じことを何回言った事か。

ミスミソウを堪能しようやく足が動き始めると、今度はカタクリの群生が現れた。山の斜面の下までずっとカタクリが咲いている。歩みを止め見ると逆側の斜面もカタクリが群生し、谷の向うの山もピンクに染まっている。「すごい」目が点になるというのはこういうことか、見渡す限りのカタクリに圧倒された。カタクリも丁度見頃で本当に運が良かった。

桜尾根コースも登ったり下ったりの連続で、5、6回上り下りを繰り返して角田山山頂に到着した。広い山頂には多くの人が密を避け2、3人であちこちにすわり休んでいる。どこにしようかと迷っていると土地の人か、5分歩くと眺めの良い場所があるから、そこまで行かないと！と教えてくれた。5分にしては少し遠いように感じたが、行くと、向陽道林という建物の前が広場になっていて、ベンチもあり、10数人が密を避けるようにいた。私達もここでランチタイム。春霞で遠望は期待したようにはいかなかったが、飯豊連峰か、雪山がかすかに見えた。

下りは灯台コース。急な登り下りが続き、桜尾根コースもよく見えた。お花は少なくなったが、カタクリの群生も出てきて、珍しい白いカタクリにも出会えたのは嬉しかった。こちらのコースはユキツバキが素晴らしい。赤い花をつけたユキツバキの大木が何本もある。雪国新潟ならではの景色だ。ユキ

